



**2024年12月期
第4四半期(通期)
決算説明資料**

**2025年2月12日
株式会社セプテーニ・ホールディングス**

Copyright ©2025 SEPTENI HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 01 2024/12期 通期レビュー
- 02 四半期連結決算概要
- 03 デジタルマーケティング事業
- 04 メディアプラットフォーム事業
- 05 中長期で目指したい姿
- 06 FY2025の方針と業績予想
- 07 補足資料

ファクトシートのダウンロードは[こちら](#) (xlsx形式)

2023年12月期より、IPプラットフォーム事業を非継続事業に組替表示しているため、収益、営業利益、Non-GAAP営業利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております

デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益及び株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

FY2024 通期業績

- 売上高は前期比+5.8%、収益も+2.2%の増収となりどちらも過去最高を更新※
- 人員増加に対する収益転換が計画より遅れ、前期比-20.4%の営業減益
- 子会社株式売却等で親会社所有者帰属当期利益、EPSが大きく増加し株主還元を大幅強化
- 組織再編と不採算事業の撤退・売却を進め、中期テーマとして掲げた「フォーカス」は一定の進捗

FY2025 方針

- 事業環境の変化スピードが早く、3年単位での見通しが難しいため、中期経営方針のローリングを取りやめるとともに、昨年2月公表の3ヵ年計画は取り下げ、中長期で目指したい姿を設定
- 中期テーマ「フォーカス&シナジー」は継続、報告セグメントの変更により事業ポートフォリオの改編および各事業の方針をアップデート
- 対売上高収益率と生産性は継続課題と捉え改善に取り組み、増益転換にコミット
➡2025年は単年度の業績予想を着実に達成し、V字回復の実現を目指す

01

2024/12期 通期レビュー

05 FY2024 通期決算ハイライト (非継続事業組替え後)

- 売上高は順調に拡大し前期比+5.8%、収益も前期比+2.2%となりどちらも過去最高※1を更新
- コストコントロールによりNon-GAAP営業利益が修正後業績予想を超過
- 期末配当金は1株当たり31.35円、配当性向は117.6%

	金額	前年同期比	修正後業績予想比	
収益	28,284百万円	+2.2%	+0.7%	
Non-GAAP営業利益	3,197百万円	-20.4%	+6.6%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,526百万円	+47.9%	+7.3%	
1株当たり当期利益 (EPS) ※2	26.65円	+8.70円	+1.81円	
【参考】	売上高	145,996百万円	+5.8%	-0.1%
	対売上高収益率	19.4%	-0.6Pt	+0.2Pt
1株当たり配当金	31.35円	+26.15円	—	
配当性向	117.6%	+92.5Pt	—	

デジタルマーケティング事業

- マーケティング・コミュニケーション領域の拡大により増収
- マーケティング・コミュニケーション領域における費用の増加によりNon-GAAP営業利益は減益

(単位：百万円)	金額	前年同期比	修正後業績予想比
収益	26,810	+3.5%	+0.8%
Non-GAAP 営業利益	6,357	-6.4%	+4.2%
【参考】売上高	144,740	+5.9%	—

メディアプラットフォーム事業

- 前期比で減収、赤字幅拡大
- 事業継続基準にあわせ、事業会社2社を4Qに連結除外

(単位：百万円)	金額	前年同期比	修正後業績予想比
収益	1,703	-13.0%	+0.2%
Non-GAAP 営業利益	-93	(-15)	(-3)

コミスマ(株)[※]の一部株式譲渡に伴う株式売却関連益による押し上げと持分法投資利益等の増加により親会社の所有者に帰属する当期利益は大きく増加

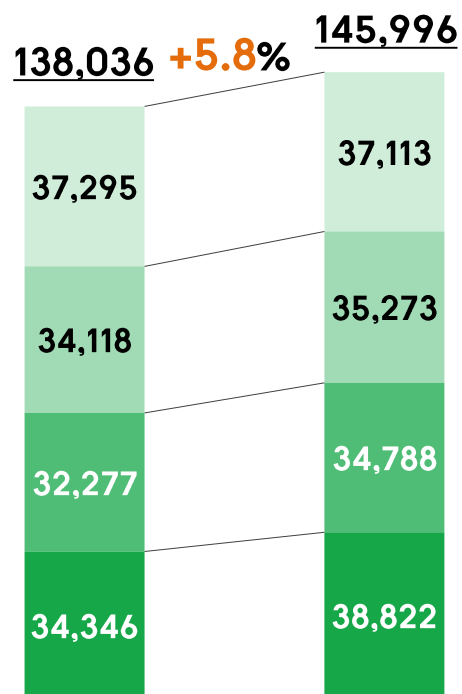
(単位：百万円)	2024年 12月期 通期			2023年 1-12月	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	28,284	100.0%	+2.2%	27,674	100.0%
売上総利益	22,203	78.5%	+0.4%	22,106	79.9%
販売管理費	19,096	67.5%	+5.1%	18,171	65.7%
Non-GAAP営業利益	3,197	11.3%	-20.4%	4,016	14.5%
営業利益	3,129	11.1%	-20.2%	3,922	14.2%
持分法投資利益等	1,603	5.7%	+32.8%	1,207	4.4%
継続事業からの当期利益	3,309	11.7%	-20.9%	4,182	15.1%
非継続事業からの当期利益	2,210	7.8%	—	-483	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,526	19.5%	+47.9%	3,736	13.5%
【参考】売上高	145,996	—	+5.8%	138,036	—

08 FY2024 通期連結業績推移

マーケティング・コミュニケーション領域の拡大により売上高、収益は増収
 人員増加に伴う収益転換が計画通り進まずNon-GAAP営業利益は減益

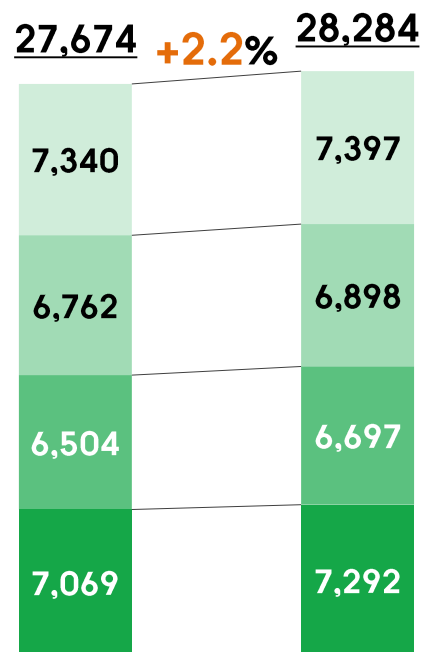
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q (単位：百万円)

売上高



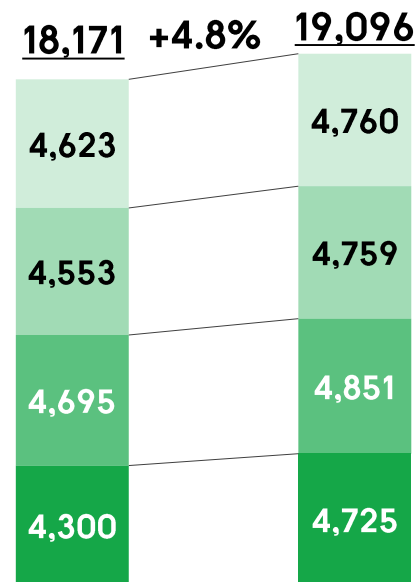
CY23/1-12月累計 FY2024累計

収益



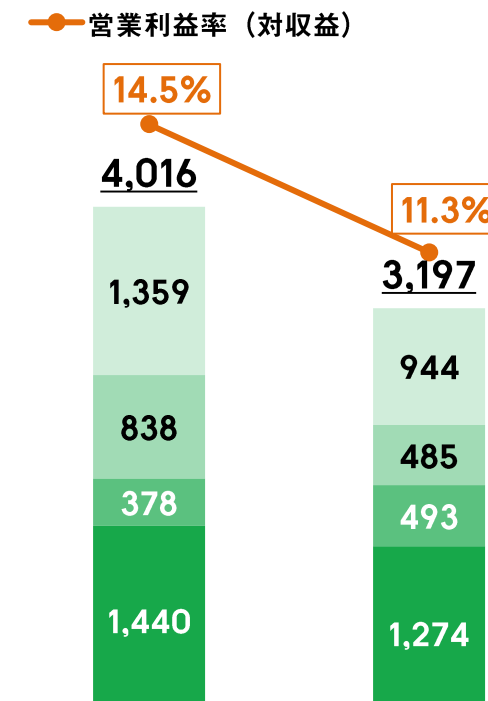
CY23/1-12月累計 FY2024累計

販売管理費



CY23/1-12月累計 FY2024累計

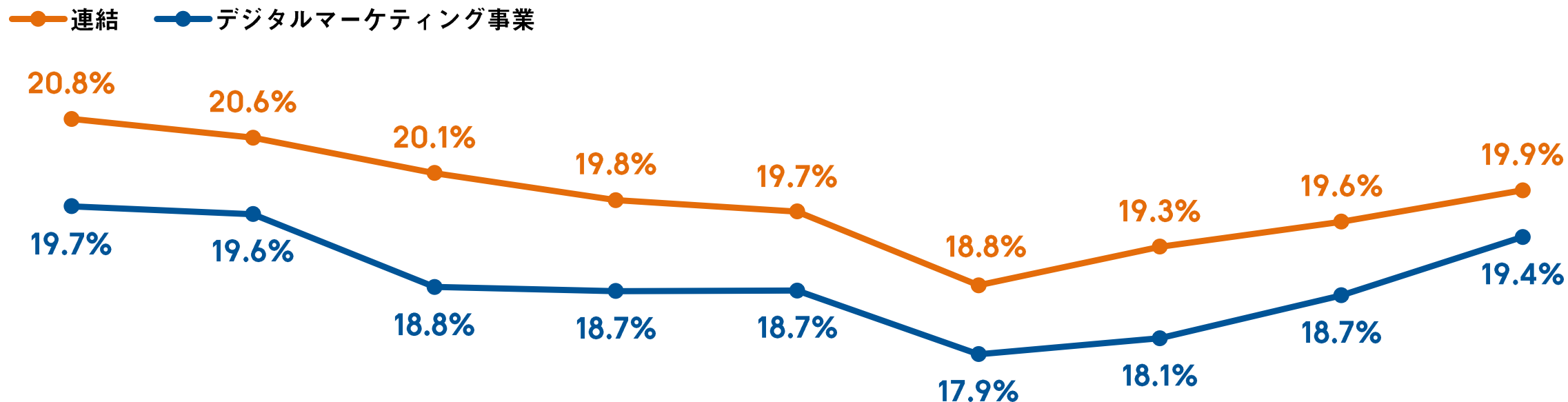
Non-GAAP営業利益



CY23/1-12月累計 FY2024累計

09 対売上高収益率推移

対売上高収益率上昇に向けた取り組みにより四半期ごとに改善が進み、
連結としてはFY24/1Qで底打ち、4Qまでに1.1Pt上昇、
引き続き収益率の高いソリューションの拡販に取り組む



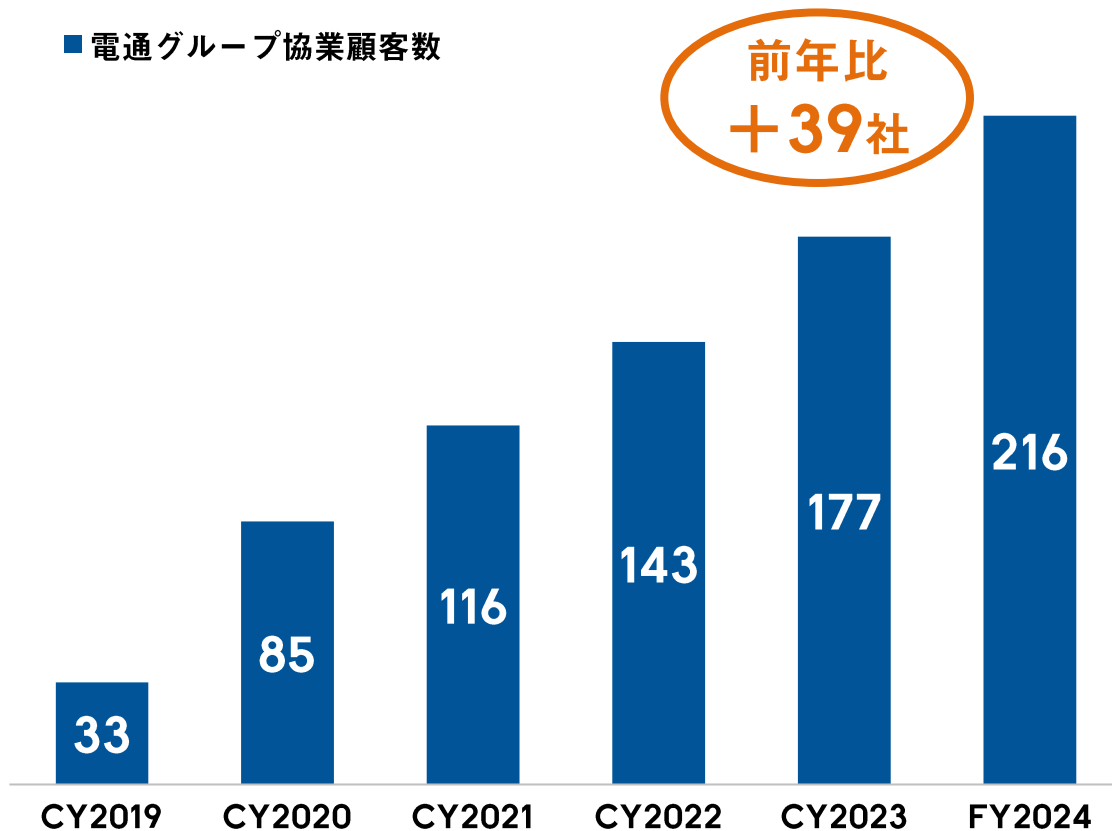
1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	1Q	2Q	3Q	4Q
10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
FY2023					FY2024			

*ソリューション：広告販売を伴わないマーケティングソリューション等

協業顧客数が順調に増加、協業売上高は一部大型顧客の縮小が
ありながらも過去最高を更新

電通グループ協業顧客数推移

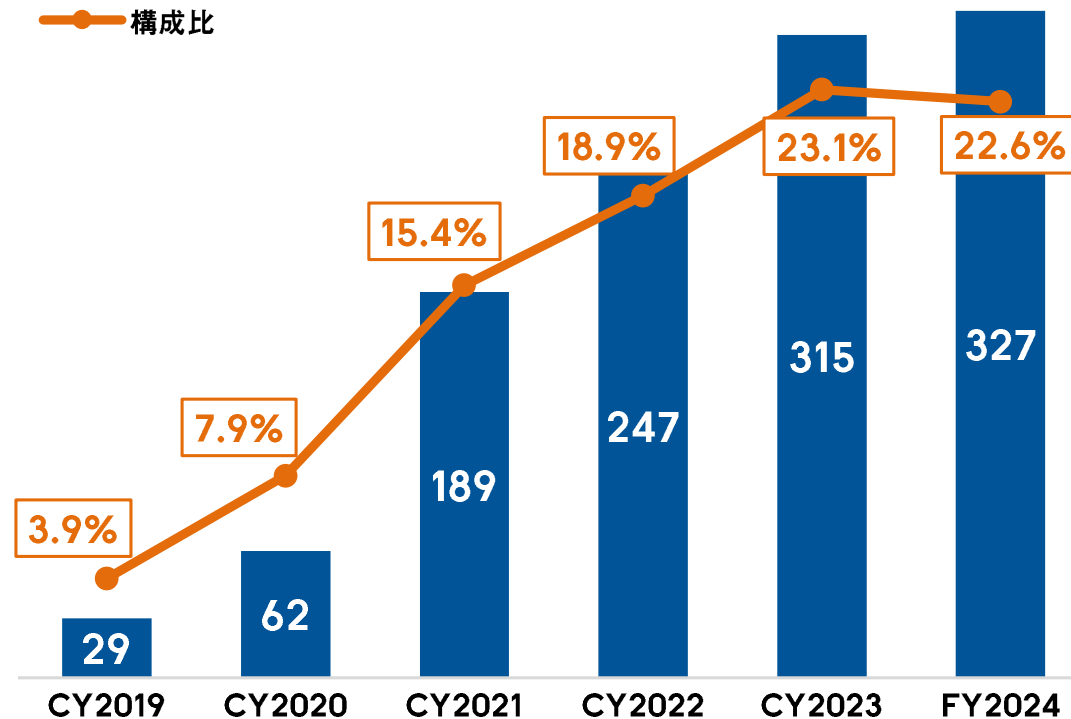
■ 電通グループ協業顧客数



電通グループ協業売上推移

■ 電通提携売上 (単位：億円)

● 構成比



AIドリブンマーケティングを推進する(株)デライトチューブが 生成AIを活用して企業やブランドを支援する「FUKURO AI STUDIO」を設立

生成AIを活用したオリジナルの静止画・動画アバターを作成するサービス
「FUKURO AI AVATAR」や、バナー広告の量産から効果予測までを行える
バナー量産エージェントの開発サービスを提供

「FUKURO AI AVATAR」により
スポーツウェアブランド
デサントのECサイト掲載のウェア
商品クリエイティブを制作



「FUKURO AI AVATAR」により
ブランド買取専門店「なんぼや」の
AIモデルを制作



ヒルトン東京 秋のスイーツ
ビュッフェのオリジナルアバター
シェフとプロモーション動画、
コンセプト動画を制作



02

四半期連結決算概要

13 FY2024/4Q (10-12月) 連結P/L (非継続事業組替え後)



前年同期での一部顧客の需要増による反動があったものの、
対売上収益率の改善により増収確保

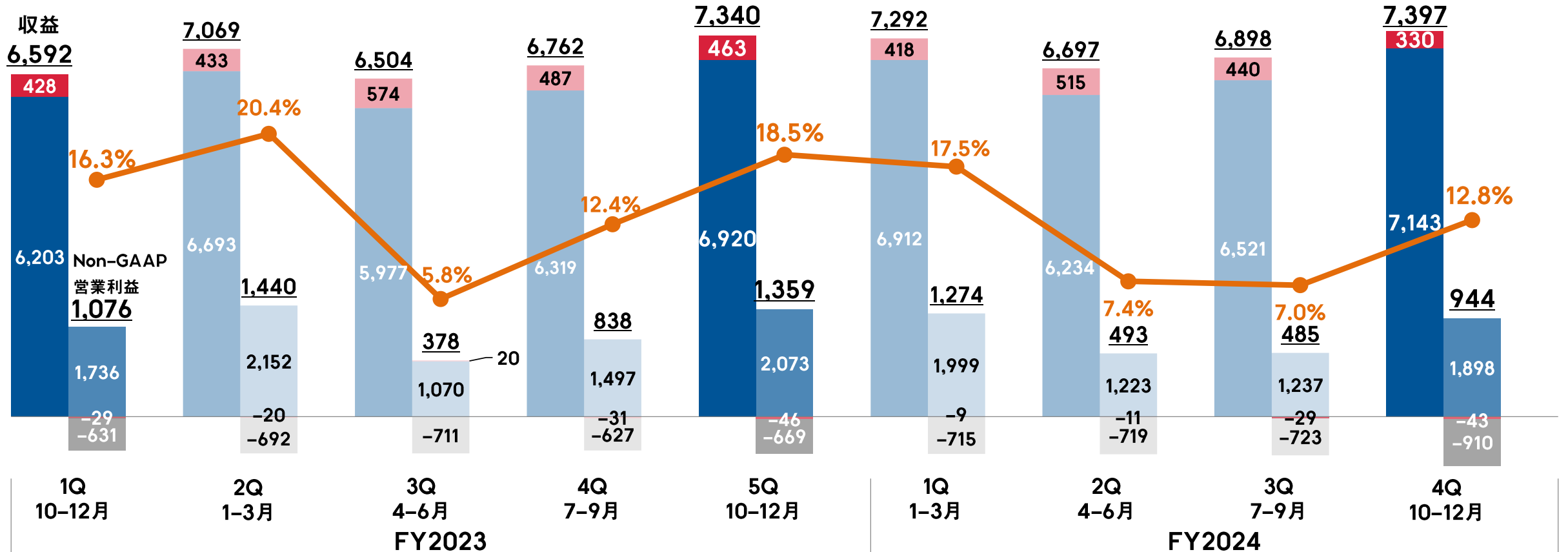
(単位：百万円)	2024年 12月期 4 Q (10-12月)			2023年 12月期 5 Q (10-12月)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	7,397	100.0%	+0.8%	7,340	100.0%
売上総利益	5,685	76.9%	-4.7%	5,966	81.3%
販売管理費	4,760	64.4%	+3.0%	4,623	63.0%
Non-GAAP営業利益	944	12.8%	-30.5%	1,359	18.5%
営業利益	937	12.7%	-31.2%	1,363	18.6%
持分法投資利益	688	9.3%	+38.9%	495	6.7%
継続事業からの四半期利益	1,259	17.0%	-23.5%	1,646	22.4%
非継続事業からの四半期利益	—	—	—	-103	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,254	17.0%	-19.1%	1,550	21.1%
【参考】売上高	37,113	—	-0.5%	37,295	—

* IPプラットフォーム事業の業績をFY2023/5Qにおいては非継続事業に組替表示、FY2024/4Qでは四半期末時点での当社持分に対する持分法投資利益を計上

14 連結業績四半期推移（セグメント別・非継続事業組替え後）

デジタルマーケティング事業の拡大により増収、 営業利益率も前四半期比で回復傾向

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円） ● 営業利益率（対収益）



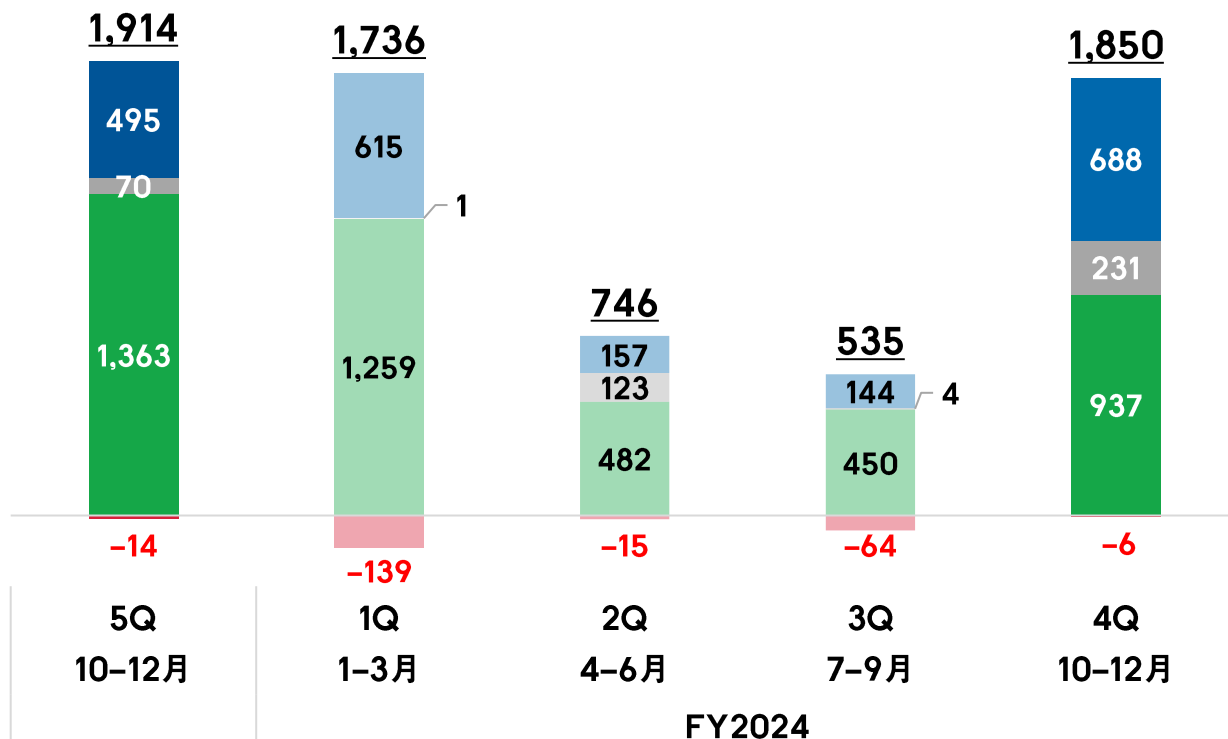
*セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

15 連結 税引前当期利益 四半期推移 (非継続事業組替え後)

電通デジタルを中心とした持分法投資利益が前期比で+約4億円と着実な増加

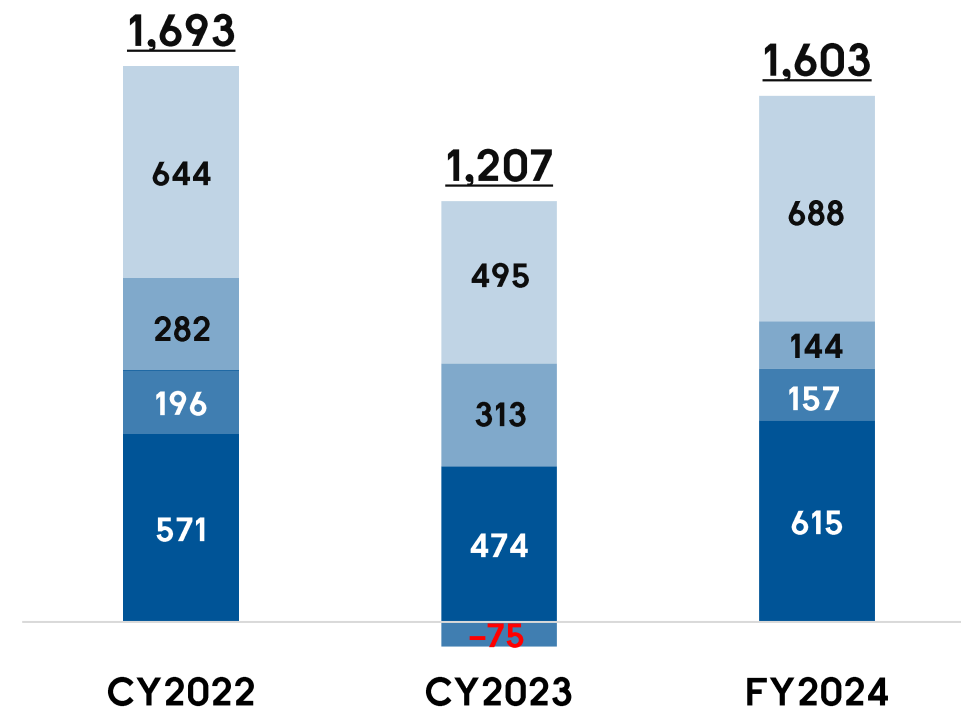
四半期推移

■ IFRS営業利益 ■ 金融収益 ■ 金融費用
■ 持分法投資利益 ■ 税引前当期利益 (単位：百万円)



持分法投資利益・通期推移

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q 合計 (単位：百万円)



16 連結費用構成 (IFRS・非継続事業組替え後)

ダイレクトビジネス領域においてクリエイティブ制作にかかる外注費が増加

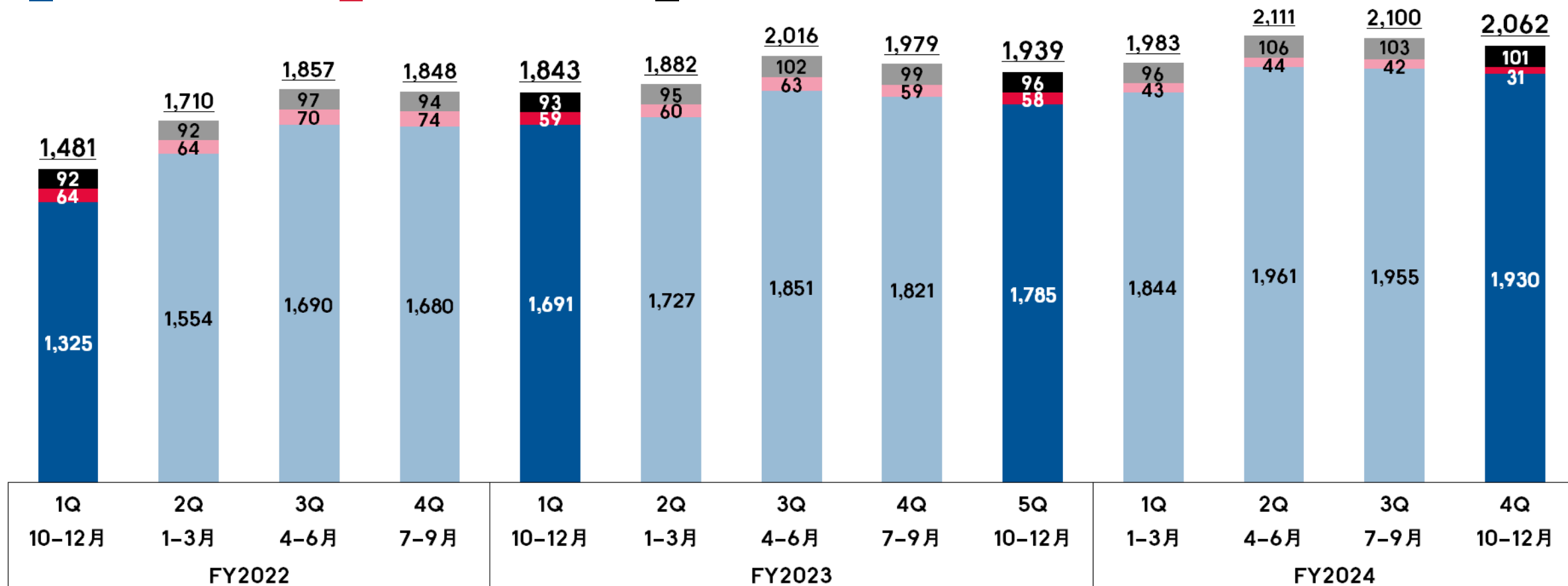
(単位：百万円)	FY2023					FY2024					QonQ	YonY
	1Q 10-12月	2Q 1-3月	3Q 4-6月	4Q 7-9月	5Q 10-12月	1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月	4Q 10-12月			
売上原価合計	1,232	1,370	1,424	1,400	1,374	1,310	1,392	1,668	1,712	+2.7%	+24.6%	
人件費	393	408	453	442	439	422	443	430	472	+9.7%	+7.5%	
外注費	545	659	623	650	596	592	606	932	960	+3.0%	+61.2%	
その他	294	303	349	308	339	296	343	305	280	-8.3%	-17.5%	
販管費合計	4,329	4,300	4,695	4,553	4,623	4,725	4,851	4,759	4,760	+0.0%	+3.0%	
人件費 ^{※1}	2,878	2,892	3,248	3,154	3,149	3,227	3,334	3,236	3,171	-2.0%	+0.7%	
従業員賞与 ^{※2}	147	155	148	195	204	177	130	156	174	+11.4%	-14.5%	
賃借料等	293	284	297	294	295	266	266	267	271	+1.6%	-8.1%	
販促費・広告費	160	124	154	164	157	180	198	193	140	-27.6%	-11.2%	
租税公課	105	105	97	61	97	104	102	102	92	-9.4%	-4.4%	
その他	747	740	751	685	721	772	820	804	912	+13.3%	+26.5%	

※1 Non-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬 (BIP信託) を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む

17 連結従業員数推移

事業ポートフォリオの見直しによりメディアプラットフォーム事業の人員数が減少
FY2025はグループ内の人材流動性向上により生産性改善を目指す

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位:名)



*IPプラットフォーム事業の非継続事業組替えに伴い、連結従業員数から除外

18 生産性向上に向けた取り組み

全社における生産性改善のための出社施策や業務への生成AIの利活用を推進

FUKURO AIとは

業務改善やマーケティング課題解決を目的として複数のLLMなどを組み合わせた開発・運用フレームワークにより、高いセキュリティ・プライバシー保護環境下で自社データの活用を可能にしたことで「FUKURO AI」の多様な機能が利用可能に

FUKURO AI
CHAT

- チャットアシスタント
 - 音声ファイルの認識 (文字起こし)
 - 画像生成、画像認識
 - データ分析、グラフの作成 etc.

FUKURO AI
COLLECTIVE INTELLIGENCE

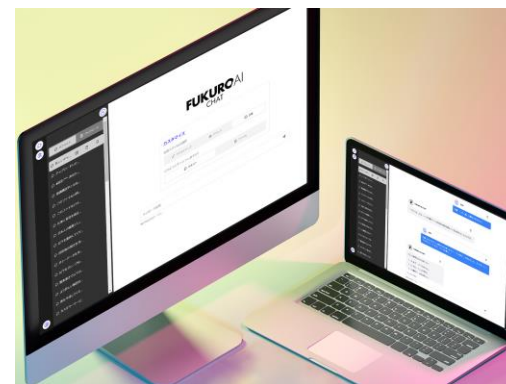
- チャットボット
 - ソースの学習
 - モデル設定 etc.

生成AIの利活用

国内全社に「FUKURO AI」を導入し、業務効率化と生産性向上につなげる

<活用ケース>

- クリエイティブ分析、レポート分析
- 画像・LPのエラー&レギュレーションの確認
- チャットボットによるナレッジ共有



国内全社平均MAU

約51%

(2024年12月時点)

削減工数予測※

一人当たり**8時間**/月

03

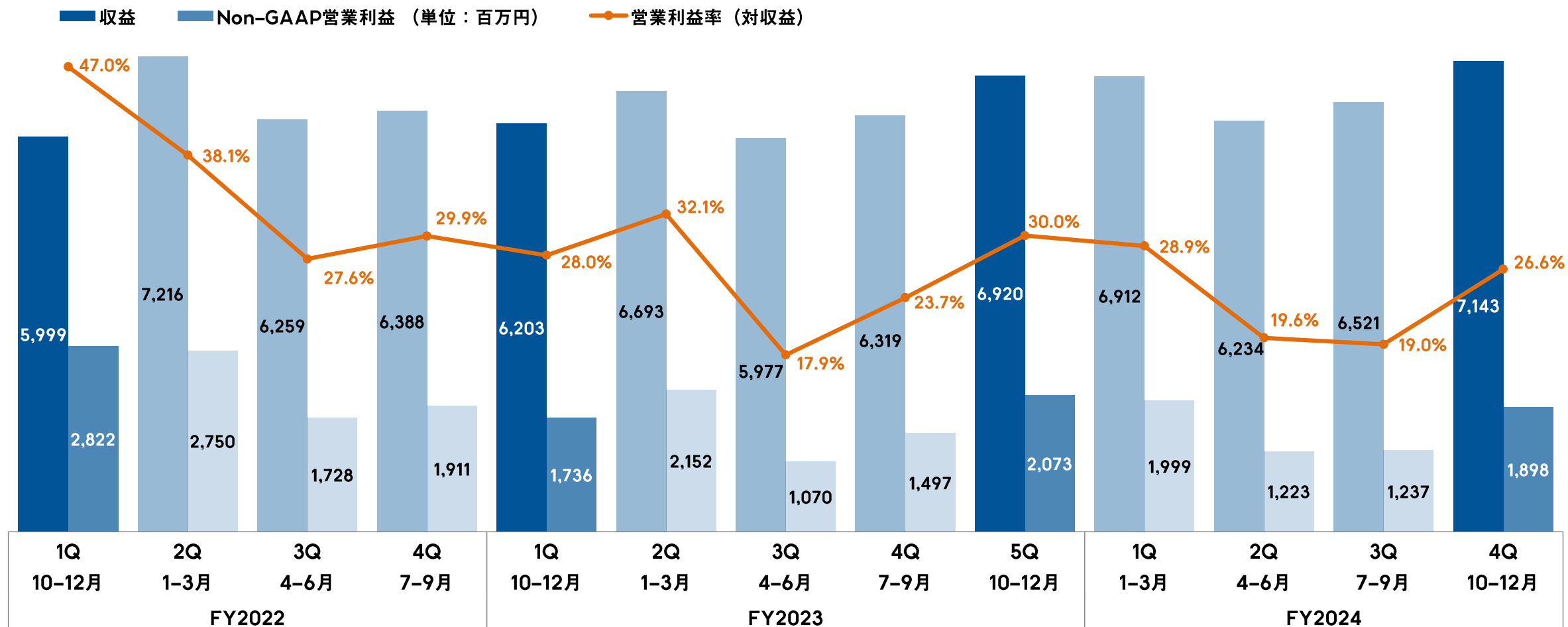
デジタルマーケティング事業

対売上高収益率が**+0.7Pt改善**し増収となった一方、
営業減益の着地となり採用数調整、人員配置等を計画・実行中

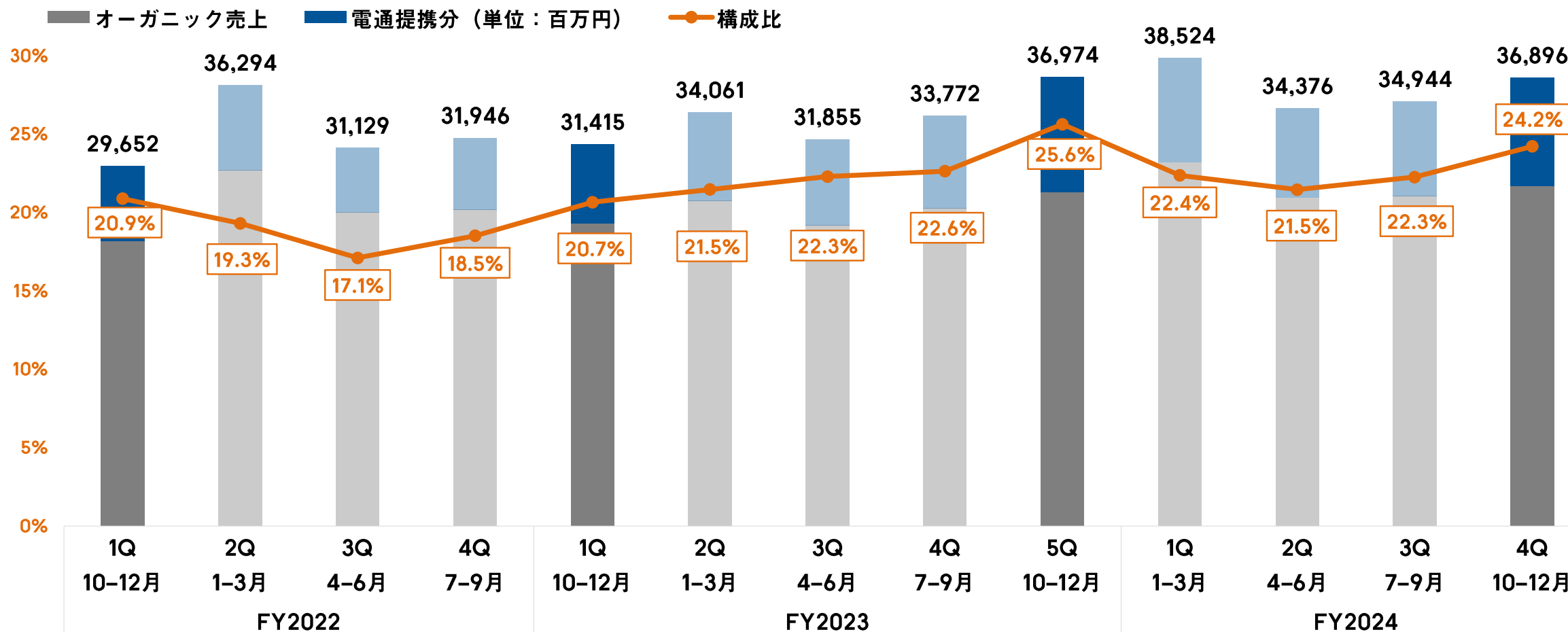
(単位：百万円)	2024年12月期 4Q (10-12月)			2023年12月期 5Q (10-12月)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	7,143	100.0%	+3.2%	6,920	100.0%
売上総利益	5,484	76.8%	-3.1%	5,662	81.8%
販売管理費	3,602	50.4%	-0.1%	3,605	52.1%
Non-GAAP営業利益	1,898	26.6%	-8.5%	2,073	30.0%
売上高	36,896	—	-0.2%	36,974	—
【参考】 対売上高収益率	—	19.4%	+0.7Pt	—	18.7%
対売上高営業利益率	—	5.1%	-0.5Pt	—	5.6%

21 デジタルマーケティング事業 四半期業績推移

収益の10-12月実績としては過去最高を更新で増収減益、営業利益率も回復傾向



今期納品を開始した案件が足元で着実に拡大



*FY2022/2Q以降、オーガニック売上に新規連結効果を含む

04

メディアプラットフォーム事業

24 メディアプラットフォーム事業 業績概況（非継続事業組替え後）



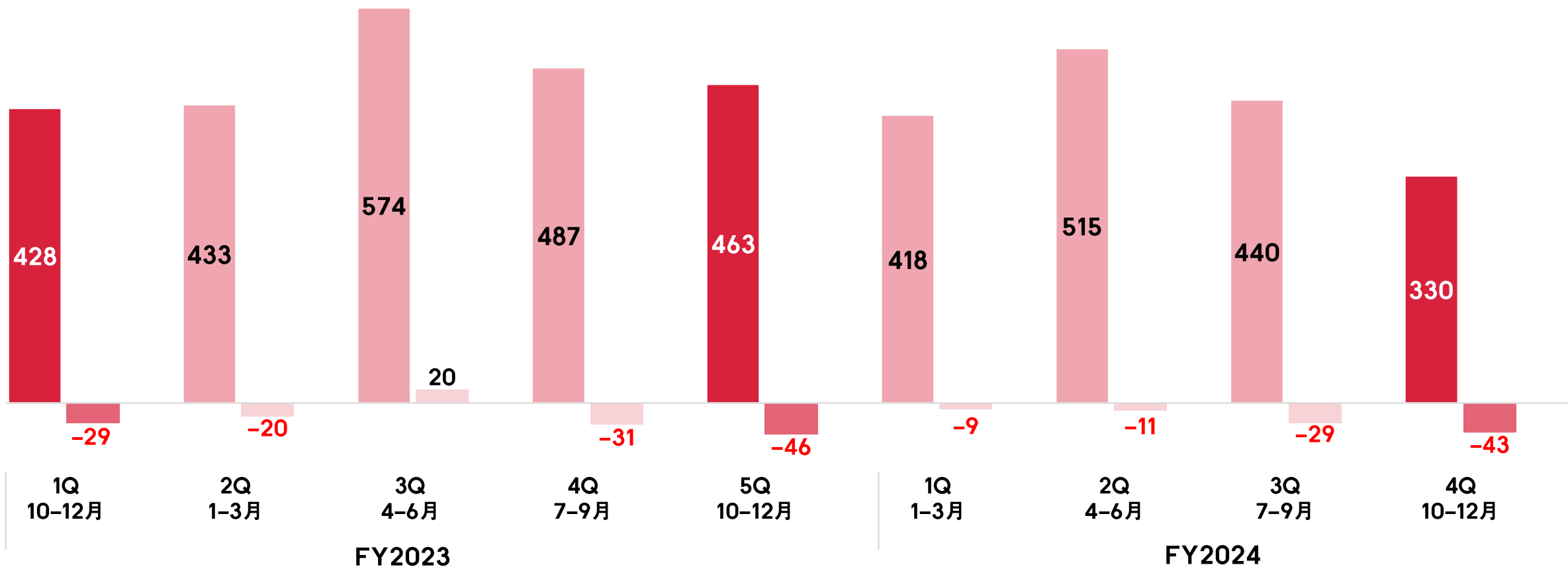
メンズコスメ事業および育児プラットフォーム事業の連結除外により減収、コストの見直しにより赤字幅が縮小

(単位：百万円)	2024年12月期 4Q（10-12月）			2023年12月期 5Q（10-12月）	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	330	100.0%	-28.7%	463	100.0%
売上総利益	268	81.2%	-22.4%	345	74.6%
販売管理費	311	94.3%	-20.3%	391	84.3%
Non-GAAP 営業利益	-43	—	+2	-46	—

25 メディアプラットフォーム事業 四半期業績推移 (非継続事業組替え後) SEPTENI

今期実施した事業ポートフォリオの見直しに一定の目途をつけ、引き続き事業継続基準に沿って事業マネジメントの規律を徹底

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)



05

中長期で目指したい姿

中長期で目指したい姿

- 長期で目指したい姿の実現に向け、中期テーマ「フォーカス&シナジー」は今後も継続
 - 引き続き組織再編の推進とポートフォリオマネジメントの徹底による既存事業の磨きこみ（＝フォーカス）を行いながら、事業内、事業間、電通協業、外部パートナーの4層でさらなるシナジー創出に取り組む
- ➡ デジタルマーケティングを軸とした隣接領域を含むケーパビリティ獲得・強化、アライアンス推進により**2030年までに当期利益100億円**を創出し、**高成長・高還元**の両立を実現する企業体を目指す

中長期で目指したい姿を踏まえたFY2025の方針

- 中期テーマの推進としてFY2025より報告セグメントを変更し、3事業体制へ
- 短期課題である収益性、生産性の改善に取り組みながら各事業の成長により増収の継続、**営業増益転換によるV字回復**を目指す
- 成長投資および株主還元における各種施策検討中により、期末配当予想は現時点で未定

28 中期経営方針について

事業環境の変化が速く中期的な将来見通しの不確実性が高いことから、従来のローリング方式は取り止め、中長期方針としての「フォーカス&シナジー」を継続

これまでの中期経営方針

	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
FY22~24 ローリング		更新			
FY23~25 ローリング			更新		
FY24~26 ローリング				更新	

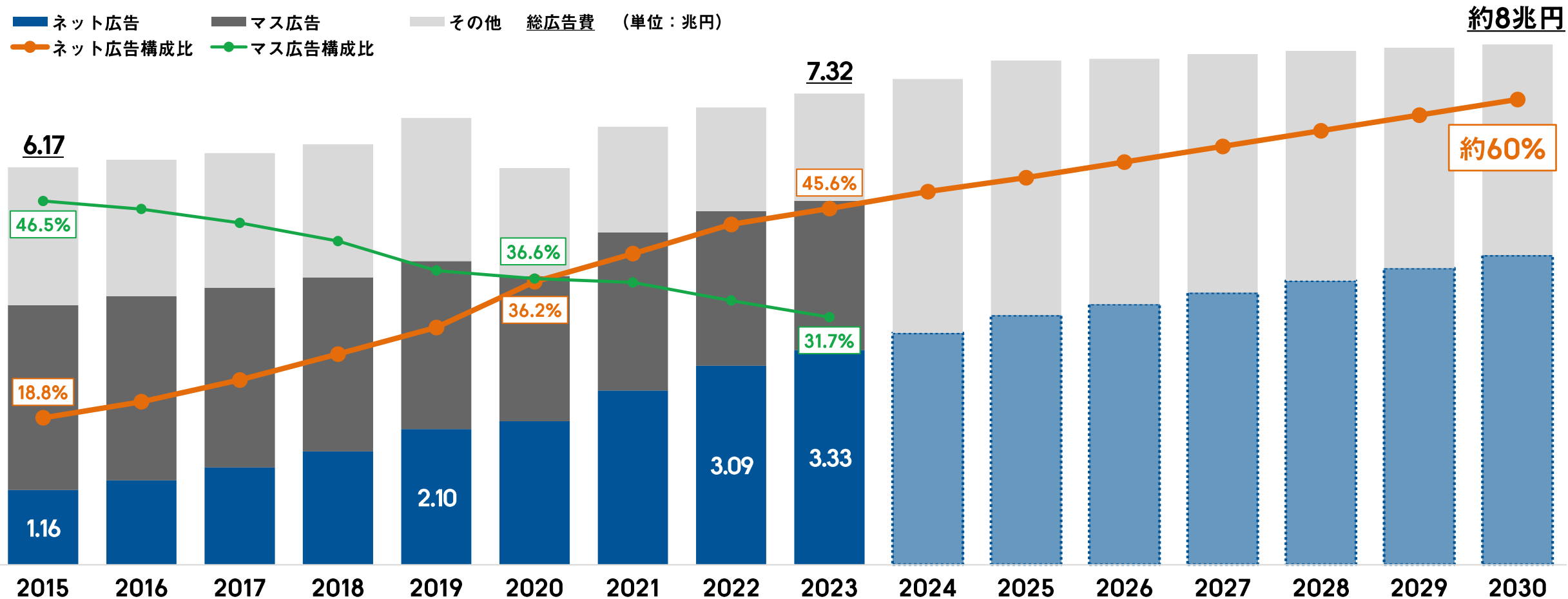
これから中長期で目指したい姿

FY2025~

長期で目指したい姿と中期テーマ「フォーカス&シナジー」の実現に向けた事業運営、組織再編、ポートフォリオマネジメントにより2030年までに当期利益100億円を創出し、高成長と高還元の両立を実現する企業体を目指す

29 市場環境の見通し

2030年頃までに日本の総広告費は保守的に見ても8兆円規模まで拡大、インターネット広告費はそのうち約6割を占めるまでに伸長する見立て



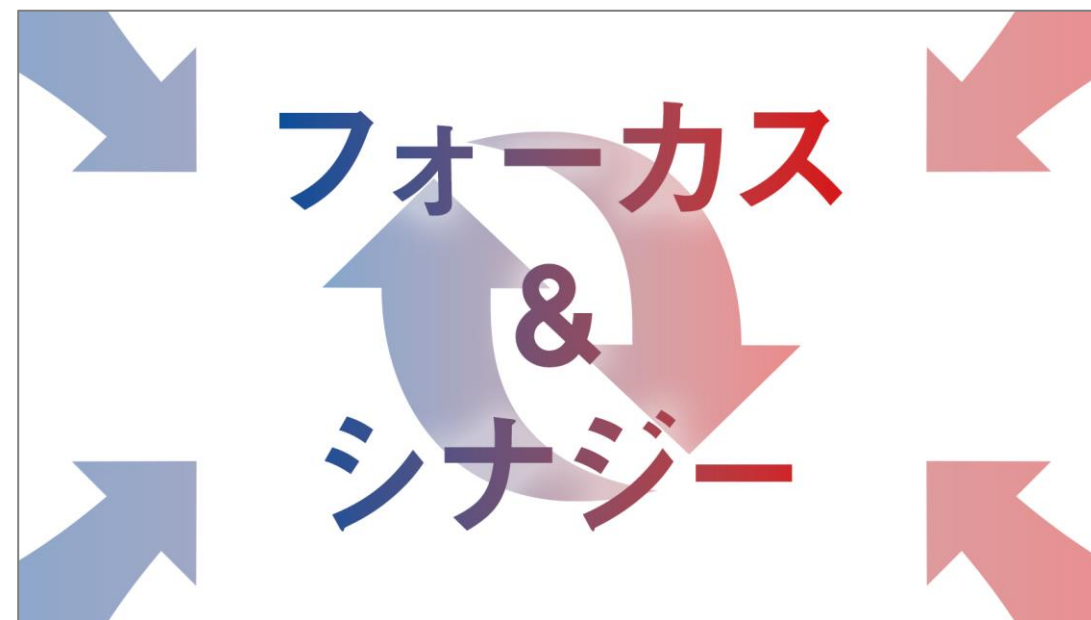
30 中長期で目指したい姿

高成長・高収益領域の掛け合わせによる事業シナジーを創出することで、顧客課題解決に対しデジタルマーケティングを軸に戦略立案～実行までの総合的な支援を担う事業ポートフォリオ形成を目指す

中長期で目指したい姿（再掲）

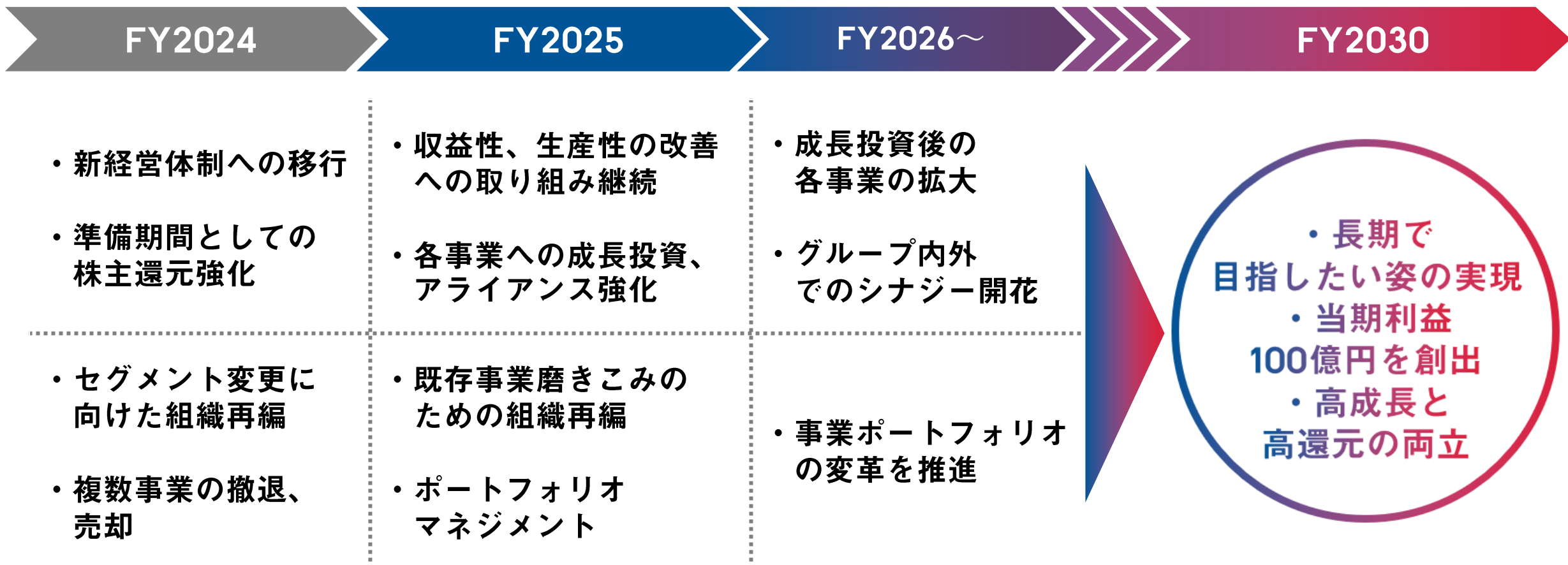


中期テーマ



31 中長期で目指したい姿に向けたマイルストーン

FY2024での取り組みをFY2025につなげ、フォーカスの推進とシナジー創出に注力



マーケティング・コミュニケーション事業

Focus

- ・ 広告パフォーマンス最大化による提供価値向上を高める
- ・ 統合マーケティング実現のための専門人材とテクノロジー活用による競争力の磨き込み

Synergy

- ・ 顧客課題に対し幅広いソリューション提供が可能なポジショニング確立に向けた、グループ内での垂直立ち上げ、グループ外とのアライアンスの両面による隣接領域でのケーパビリティ拡張推進

ダイレクトビジネス事業

Focus

- ・ 持続的成長のための基盤確立

Synergy

- ・ 既存の広告モデルに頼らない新しい収益モデルの磨き込み、グループ外企業との連携推進

データ・ソリューション事業

Focus

- ・ フロント組織の増員による外販強化
- ・ エンジニア組織の連携強化

Synergy

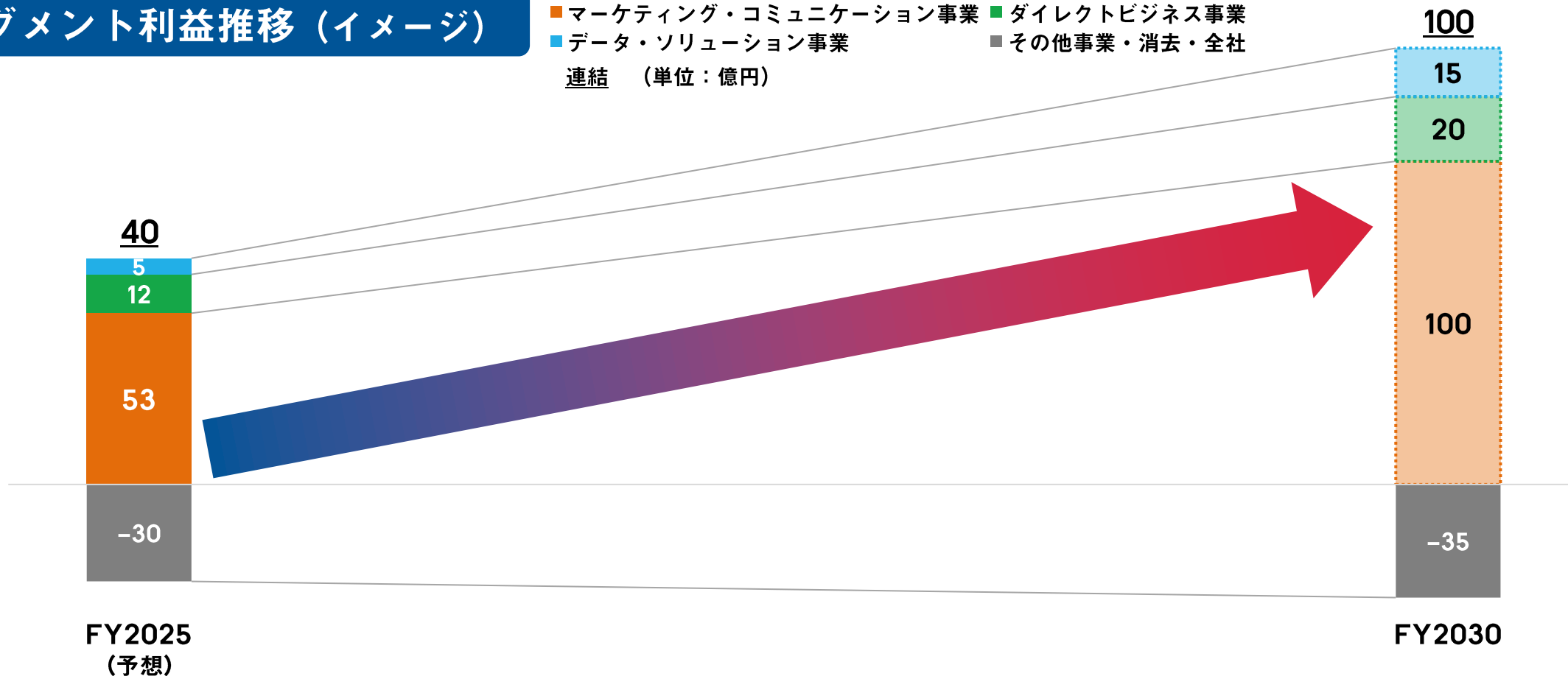
- ・ 外部パートナーとの連携による事業開発の推進

33 セグメント別の成長イメージ

今後も市場成長のアウトパフォームを目指しながら、各事業の成長と事業ポートフォリオ変革推進のための成長投資を強化

セグメント利益推移 (イメージ)

■ マーケティング・コミュニケーション事業 ■ ダイレクトビジネス事業
■ データ・ソリューション事業 ■ その他事業・消去・全社
連結 (単位: 億円)

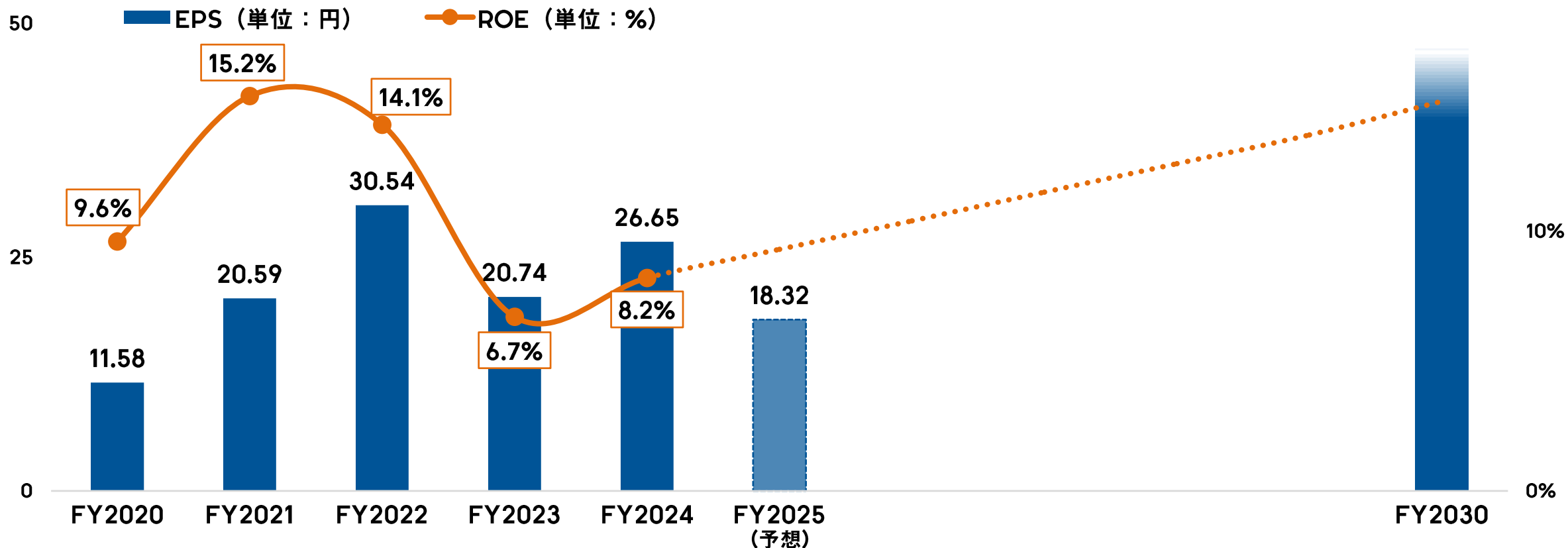


34 中長期で目指したい姿

2030年までに当期利益100億円を創出し、
高成長と高還元の両立の実現によりEPSの積み上げ、ROEの改善を目指す

EPS・ROE推移（イメージ）

※株式数、資本は足元の水準をもとに作成



06

FY2025の方針と業績予想

領域経営のさらなる推進を目的に、組織体制と情報開示におけるセグメント区分を一致させる形で報告セグメントを変更

変更前



領域経営の推進

変更後



ポートフォリオの見直し・シナジー創出に向けた再区分



その他事業

37 FY2025の経営方針について

中期テーマ「フォーカス&シナジー」を掲げ、事業内、事業間、グループ内のシナジー創出に取り組みながら、外部パートナーとの連携強化に向け準備を推進

FY2024のフォーカスポイント

デジタルマーケティング事業の再編／強化

デジタルマーケティング事業のアセットを活用したグループシナジー

各領域内からの事業創出

FY2025のフォーカスポイント

グループ再編によるフォーカスと事業内シナジーの強化

営業機能強化による事業間シナジーの創出

電通グループ協業のさらなる進展

外部パートナーとのアライアンス準備・推進

マーケティング・コミュニケーション事業におけるコンサルティング領域強化
を目的に、(株)ビービットとの資本業務提携契約を締結

提携の
目的

顧客提供価値の最大化をゴールとし、両社の強みを活かしながら両社の持つ経営資源を効果的に組み合わせることで、革新的なマーケティングソリューション提供の実現を目指す



業務提携
施策

顧客基盤の相互活用や両社のチャネルを活用した事業拡大

両社のサービス連携による顧客提供価値の向上

既存プロダクトの相互利用、連携強化

統合マーケティング実現のための新たなUX/CXプロダクトの共同開発

顧客向けの共同マーケティング/PR施策の展開

スポーツ&エンターテインメント領域におけるデジタル施策の総合支援に向け、 (株)セプターニスポーツ&エンターテインメントを設立

これまでの 取り組み

デジタルマーケティング事業で培った
ノウハウをもとに、デジタル領域の支援
を通じてスポーツクラブの運営や
チームの成長をサポート



2025年1月・新会社設立



SEPTENI SPORTS & ENTERTAINMENT

今後の 取り組み

様々な競技団体やプロスポーツクラブへのデジタル施策の支援、
プロスポーツクラブの運営サポートを強化

➡試合やイベント等への集客をはじめ、
ファンエンゲージメントを高めるためのCRMシステム基盤の構築支援等を実施

40 2025年12月期 通期業績予想 (連結)

収益性、生産性向上を実現し増収、営業増益転換によるV字回復を目指す

(単位：百万円)	2024年12月期実績	2025年12月期予想	予想成長率 (前期比)
収益	28,284	30,300	+7.1%
Non-GAAP営業利益	3,197	4,000	+25.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,526	3,800	-31.2%
継続事業のみ	3,303	3,800	+15.0%
1株当たり当期利益 (EPS) (円) ※	26.65	18.32	-8.33
継続事業のみ	15.93	15.93	+2.39
【参考】 売上高	145,996	153,000	+4.8%
対売上高収益率	19.4%	19.8%	+0.4pt

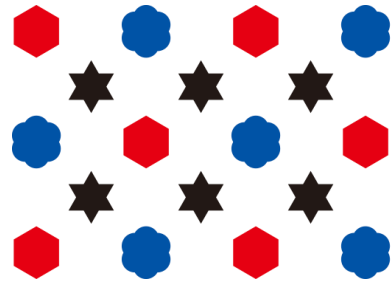
※継続事業のみのEPSは参考値

41 2025年12月期 通期業績予想 (セグメント別)

マーケティング・コミュニケーション事業を中心とした成長と、ダイレクトビジネス事業のモメンタム回復、データ・ソリューション事業の着実な成長により増収増益の達成を目指す

(単位：百万円)	収 益			Non-GAAP営業利益			
	FY2024 実績	FY2025 予想	前期比	FY2024 実績	FY2025 予想	対収益 営利率	前期比
マーケティング・ コミュニケーション	20,271	21,600	+6.6%	4,817	5,300	24.5%	+10.0%
ダイレクトビジネス	5,175	5,800	+12.1%	1,054	1,200	20.7%	+13.8%
データ・ソリューション	3,195	3,400	+6.4%	494	500	14.7%	+1.3%
その他事業	832	500	-39.9%	-59	0	-	(+59)
消去・全社	-1,188	-1,000	-	-3,109	-3,000	-	-
連 結	28,284	30,300	+7.1%	3,197	4,000	13.2%	+25.1%

本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス CEOオフィスIR部

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2025年2月12日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

06

補足資料

44 四半期連結P/L (連結・非継続事業組替え後)



(単位：百万円)	FY2023										FY2024							
	1Q (10-12月)		2Q (1-3月)		3Q (4-6月)		4Q (7-9月)		5Q (10-12月)		1Q (1-3月)		2Q (4-6月)		3Q (7-9月)		4Q (10-12月)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	6,592	100.0%	7,069	100.0%	6,504	100.0%	6,762	100.0%	7,340	100.0%	7,292	100.0%	6,697	100.0%	6,898	100.0%	7,397	100.0%
売上総利益	5,361	81.3%	5,699	80.6%	5,080	78.1%	5,363	79.3%	5,966	81.3%	5,982	82.0%	5,306	79.2%	5,231	75.8%	5,685	76.9%
販売管理費	4,329	65.7%	4,300	60.8%	4,695	65.7%	4,553	67.3%	4,623	63.0%	4,725	64.8%	4,851	72.4%	4,759	69.0%	4,760	64.4%
Non-GAAP 営業利益	1,076	16.3%	1,440	20.4%	378	5.8%	838	12.4%	1,359	18.5%	1,274	17.5%	493	7.4%	485	7.0%	944	12.8%
営業利益	1,027	15.6%	1,347	19.0%	390	6.0%	822	12.2%	1,363	18.6%	1,259	17.3%	482	7.2%	450	6.5%	937	12.7%
持分法投資利益	644	9.8%	474	6.7%	-75	—	313	4.6%	495	6.7%	615	8.4%	157	2.3%	144	2.1%	688	9.3%
親会社の所有者 に帰属する 当期利益	583	8.8%	1,573	22.3%	-125	—	738	10.9%	1,550	21.1%	3,489	47.9%	516	7.7%	266	3.9%	1,254	17.0%
【参考】売上高	31,683	—	34,346	—	32,277	—	34,118	—	37,295	—	38,822	—	34,788	—	35,273	—	37,113	—

45 四半期連結P/L (メディアプラットフォーム事業・非継続事業組替え後)



(単位：百万円)	FY2023										FY2024							
	1 Q (10-12月)		2 Q (1-3月)		3 Q (4-6月)		4 Q (7-9月)		5 Q (10-12月)		1 Q (1-3月)		2 Q (4-6月)		3 Q (7-9月)		4 Q (10-12月)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	428	100.0%	433	100.0%	574	100.0%	487	100.0%	463	100.0%	418	100.0%	515	100.0%	440	100.0%	330	100.0%
売上総利益	348	81.2%	353	81.5%	443	77.1%	392	80.5%	345	74.6%	352	84.3%	410	79.6%	359	81.7%	268	81.2%
販売管理費	377	88.1%	374	86.3%	422	73.6%	424	86.9%	391	84.3%	362	86.5%	422	81.8%	388	88.2%	311	94.3%
Non-GAAP 営業利益	-29	—	-20	—	20	3.4%	-31	—	-46	—	-9	—	-11	—	-29	—	-43	—

(単位：百万円)	2024年12月期 期末	2023年12月期 期末	増減
流動資産合計	45,978	43,683	+2,294
非流動資産合計	51,660	49,923	+1,737
資産合計	97,637	93,606	+4,031
流動負債合計	26,211	26,333	-122
非流動負債合計	1,472	1,569	-97
負債合計	27,683	27,901	-219
資本合計	69,955	65,705	+4,250
負債及び資本合計	97,637	93,606	+4,031

47 グループ理念体系

SEPTENI グループ理念体系

ビジョン

新しい時代をつくる人が育つ場となる
クリエイティビティとテクノロジーによって、
なめらかな未来へつながるドアを広げる

複雑化した世の中を、
デジタルの力で明るくシンプルに

ミッション

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

バリュー

つよく、やさしく、おもしろく。

社是

ひねらんかい



グループ理念からミッションとビジョンをサステナビリティ方針として採用し、マテリアリティの見直しを実施

サステナビリティ方針

- ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に
新しい時代をつくる人が育つ場となる
- クリエイティビティとテクノロジーによって、なめらかな未来へつながるドアを広げる
複雑化した世の中を、デジタルの力で明るくシンプルに

サステナビリティ活動の推進

気候変動への対応

新しい時代をつくる人の
育成による企業価値の向上

クリエイティビティと
テクノロジーによる
なめらかな社会の実現

非連続の成長を支える
先進的なガバナンス
体制の構築

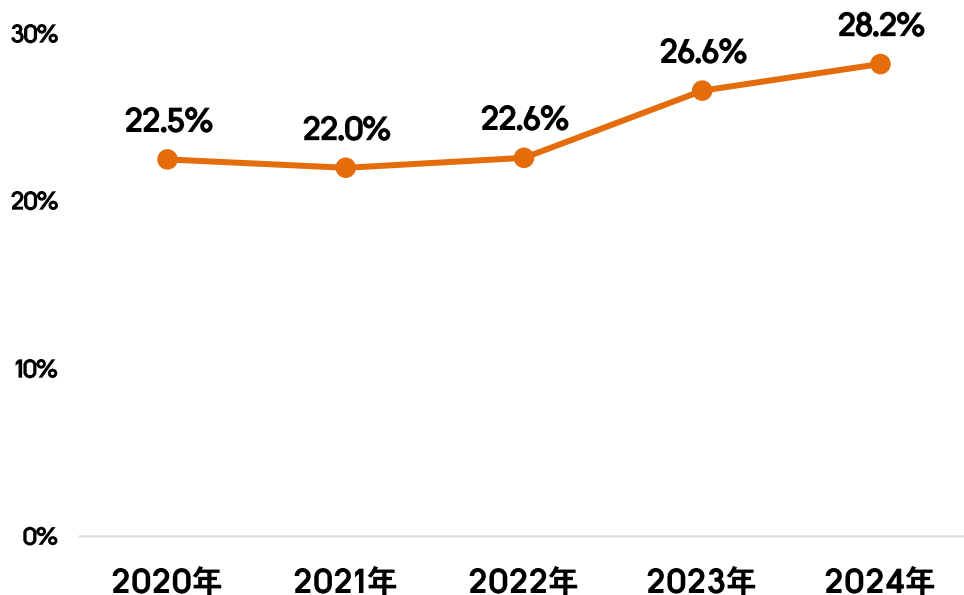
持続可能な社会および当社のミッション・ビジョンの実現に向けて 特定した4つのマテリアリティに沿った活動を推進

マテリアリティ	マテリアリティの小区分	主なKPI
<ul style="list-style-type: none">新しい時代をつくる人の育成による企業価値の向上クリエイティビティとテクノロジーによるなめらかな社会の実現	<ul style="list-style-type: none">デジタルHRによる再現性のある人材育成DEI（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）アントレプレナーシップの民主化人権の尊重なめらかな社会につながる価値創造	<ul style="list-style-type: none">2030年までに女性管理職比率を30%に向上人権リスクへの適切な対応
<ul style="list-style-type: none">気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none">GHG排出量の削減とTCFD提言に沿った情報開示	<ul style="list-style-type: none">2030年までにスコープ1・2の排出量を70%削減
<ul style="list-style-type: none">非連続成長を支える先進的なガバナンス体制の構築	<ul style="list-style-type: none">非連続の成長のための取り組みリスク低減のための取り組み	<ul style="list-style-type: none">事業ポートフォリオ経営推進による経営指標の改善エグゼクティブセッション継続実施実効性評価継続実施

当社グループにおいて特に優先度の高いマテリアリティである Social のなかでも人的資本関連のKPIを設定し、各種施策を推進

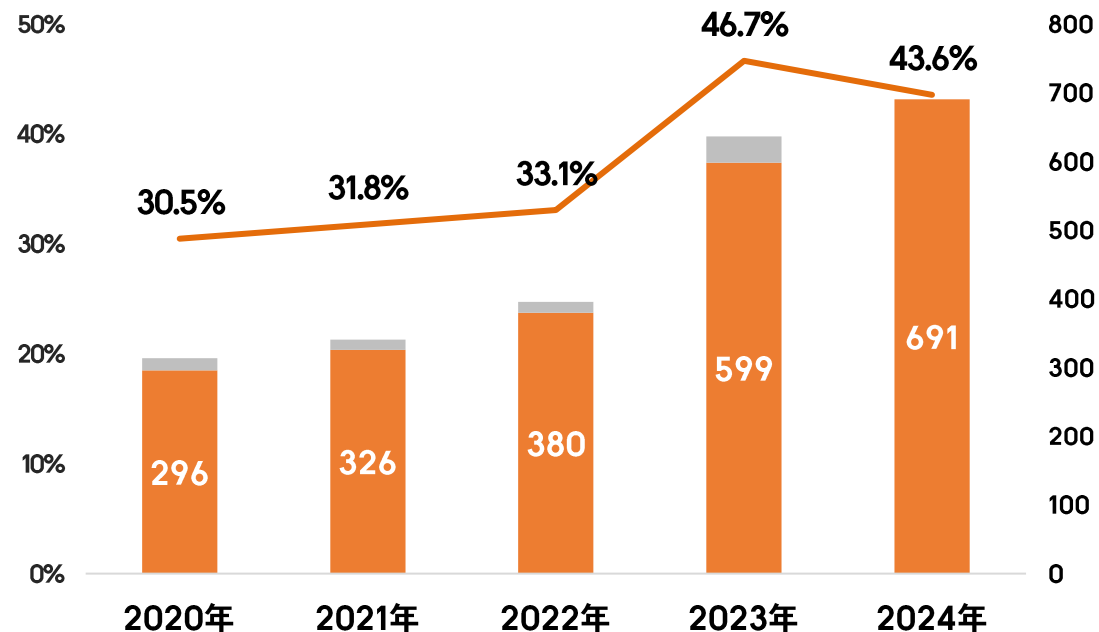
女性管理職比率※

目標：2030年までに女性管理職比率30%（国内全体）



従業員持株会入会者推移

目標：前年比増
■ 入会者数 ■ 入会者数（旧グループ会社）（単位：名）
— 入会比率（対・対象会社正社員）

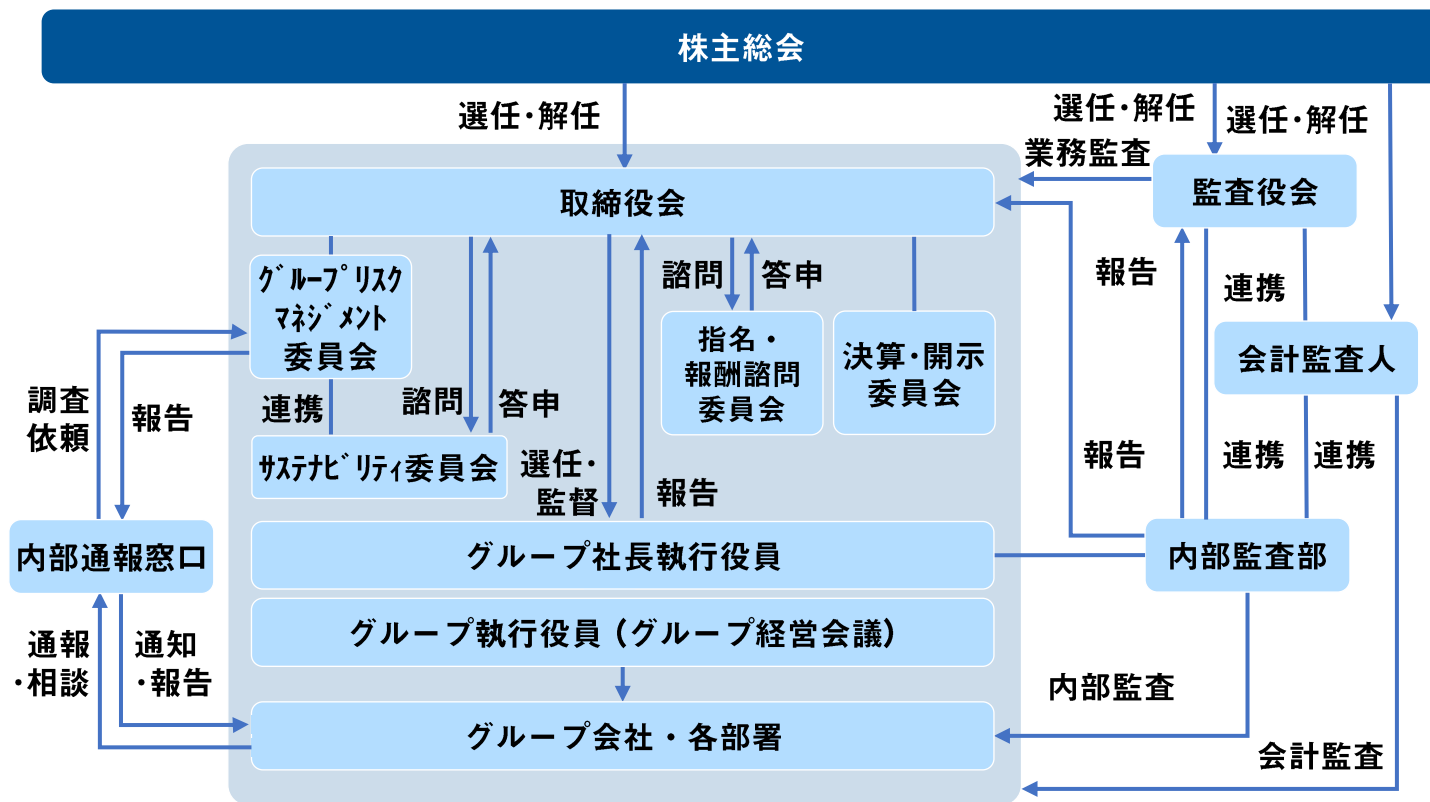


*サステナビリティ情報はこちらをご覧ください：<https://www.septeni-holdings.co.jp/csr/data.html>

※2023年までは国内主要会社、各年10月時点。2024年は国内グループ会社、12月末時点

企業理念に基づく行動及び透明公正で効率的な意思決定に加え、法令遵守と企業業績の適切な監督を目的とした体制の整備・運用に注力

コーポレートガバナンス体制図



ガバナンス改革の変遷

- | | |
|--------|---|
| FY2015 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社外取締役を指名 |
| FY2016 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会実効性評価を導入 ・ 各種委員会設置によるチェック機能の強化 ・ 買収防衛策の廃止 |
| FY2017 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員向け業績連動型株式報酬制度導入 ・ 委任型執行役員制度の導入
⇒ 監督と執行の分離 |
| FY2022 | <ul style="list-style-type: none"> ・ サステナビリティ委員会の設置、ESGへの取り組み強化 ・ 取締役の独立性・多様性をさらに強化
社外比率：5名 / 8名、女性取締役：2名 / 8名
(2025年2月12日時点) |
| FY2023 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指名・報酬諮問委員会を設置 |

52 事業区分別 主要グループ会社

2025年2月12日現在  SEPTENI

マーケティング・コミュニケーション事業



SEPTENI



SEPTENI GLOBAL



Delight Tube



milogos



Septeni
Ad CREATIVE

MANGO

HIGHSCORE,inc



LION & LION



SIGNCOSIGN

サインコサイン



SEPTENI
SPORTS&ENTERTAINMENT

ダイレクトビジネス事業

dentsu
direct

dentsu
elfto architect

データ・ソリューション事業

FLINTERS



TRICORN



Septeni
Cross Gate

その他事業

vivivit

Human Capital Lab



SEPTENI
INCUBATE

持分法適用関連会社

DENTSU
DIGITAL

PRIMECROSS

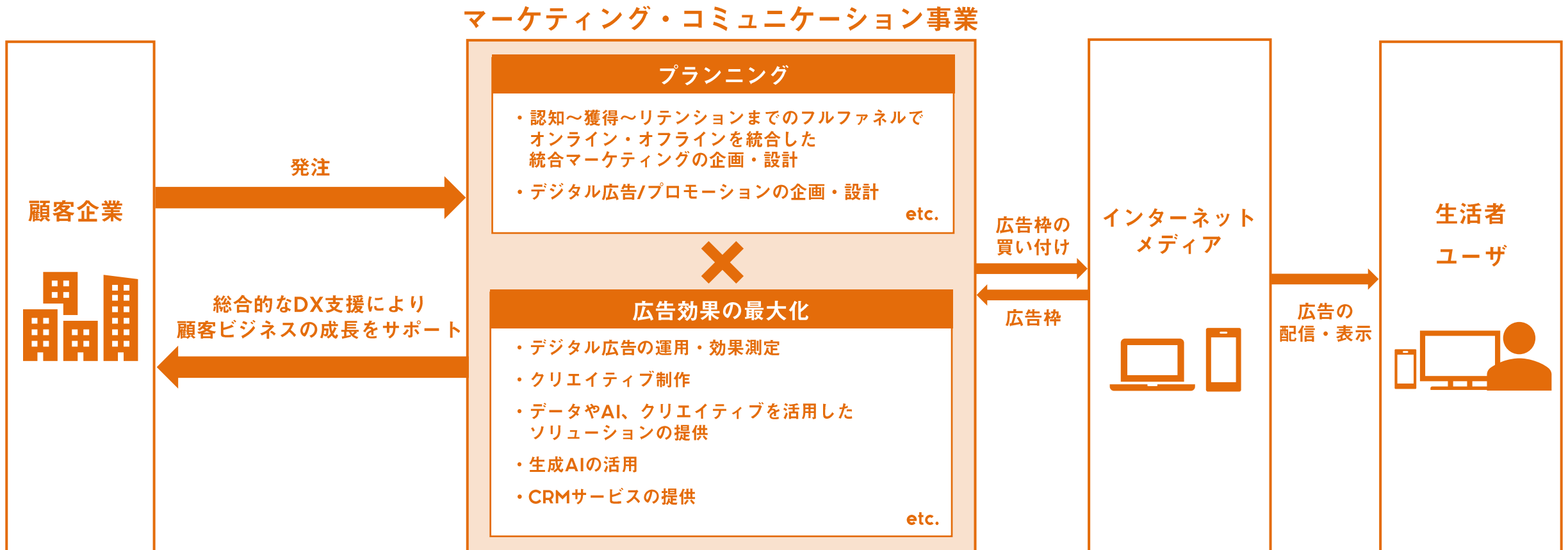
& and factory

COMISMA

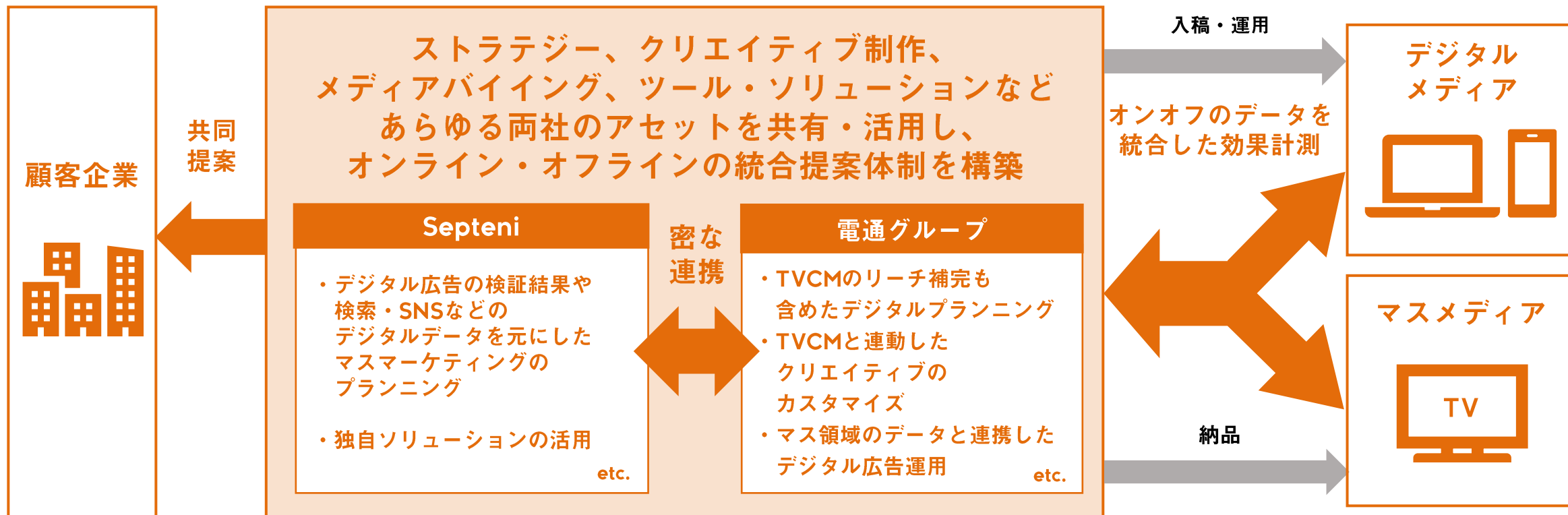
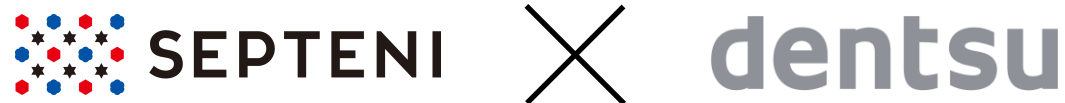


セプテーニ・ホールディングス (持株会社)

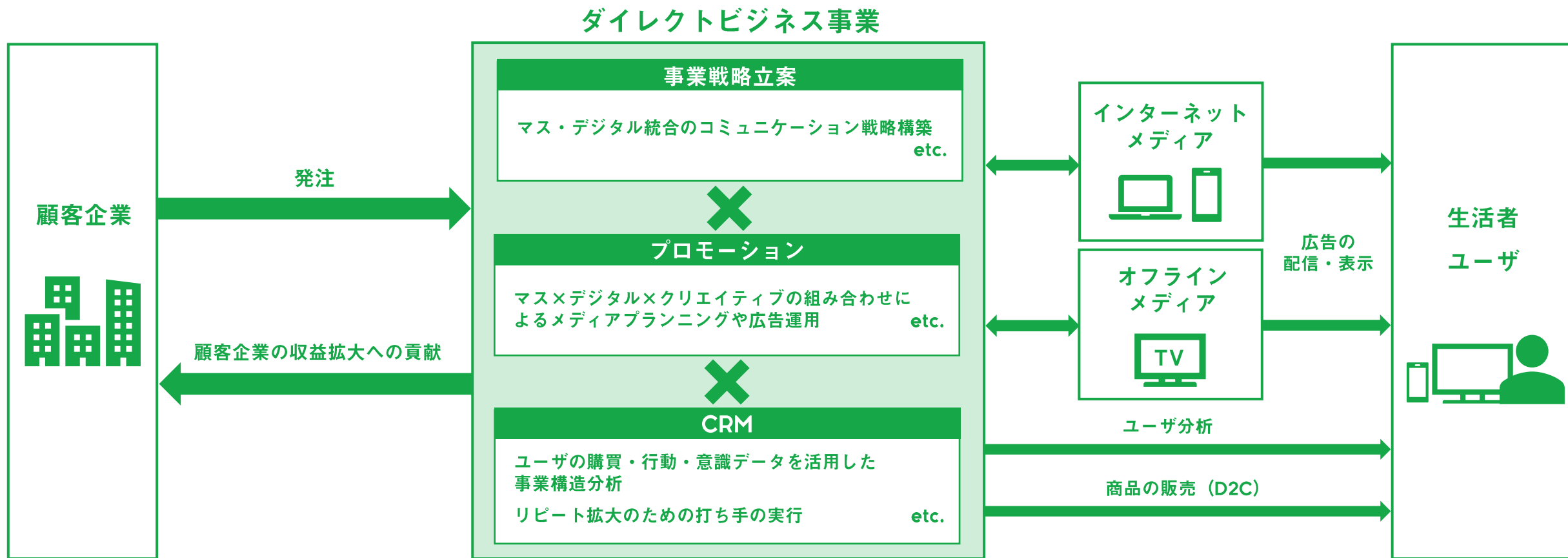
デジタル広告の販売と運用を軸とした 統合マーケティングサービスの提供により、企業のDXの総合的な支援を行う



両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の 統合マーケティング提案（イメージ）

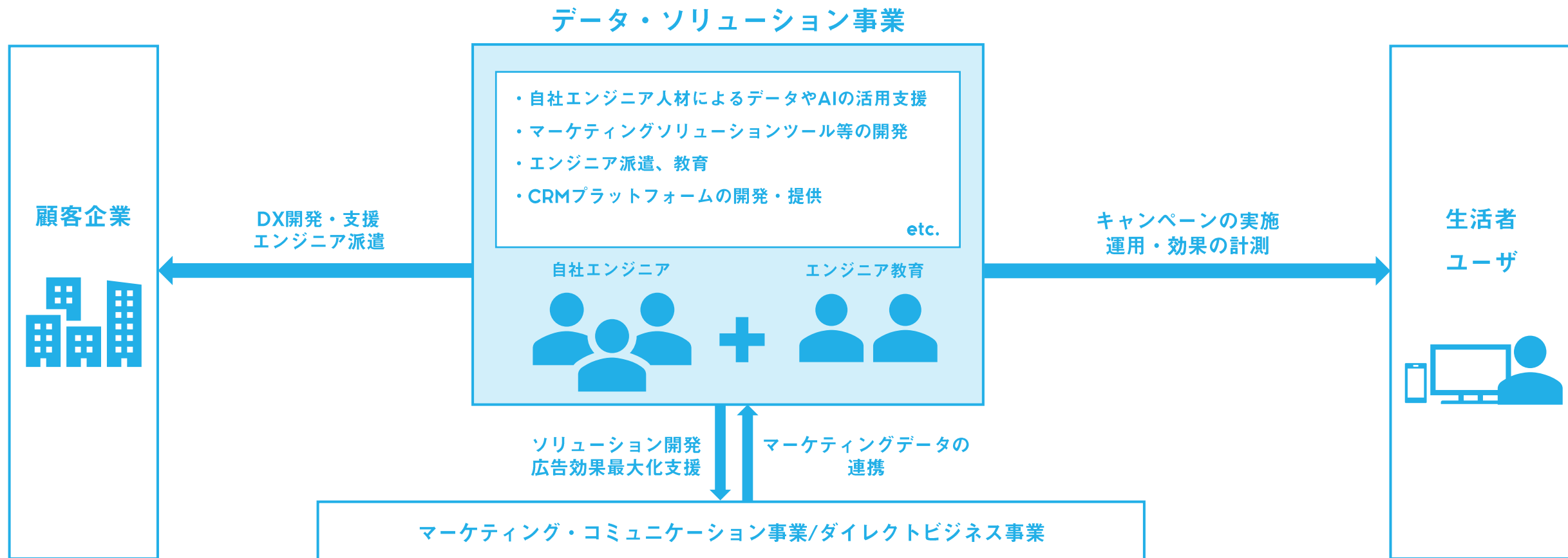


BtoC、BtoB領域において事業戦略立案からダイレクトレスポンス手法によるプロモーション、CRMまで一気通貫で実行することでオフラインメディアとデジタルを統合した顧客支援を行う



56 データ・ソリューション事業 ビジネスモデル

デジタルマーケティング領域で長年蓄積された知識・ノウハウを生かし、データの収集・統合・活用や、データやAIを活用したソリューションの開発・提供、顧客の開発支援やエンジニア人材の派遣を提供





統合報告書2023

2023年度版統合報告書を発刊しました
当社グループの価値創造プロセスのアップデートや
新たな経営体制における経営、事業方針について紹介しています

詳細は当社ウェブサイト（https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2023_ja.pdf）
もしくは右のQRコードからご覧ください



セプターニHD IR Magazine

セプターニHD・IRマガジン

 Septeni Group 18本

セプターニグループ公式note

人やカルチャーにまつわる様々な取組みを
グループの公式noteで紹介しています
また、公式note内に「IR マガジン」を開設し、
株主・投資家の皆さまに向けた情報を発信しています

詳細は以下URL（https://note.com/septeni_group）、
もしくは右のQRコードからご覧ください

